

小宮地地区 振興会だより

振興会長挨拶

5月に振興会総会を開催し決算・予算(案)の承認をいただき、併せて役員の一部改選を行いました。今後とも役員の皆様と力を併せてより良い振興会の運営に努めて参ります。

おかげ様で今年度は既に順調に行事が進んでおります。4月には宮地浦湾仕切り網漁体験行事も好天に恵まれて無事に開催でき、会場となった宮地浦湾一帯は町内外をはじめ県内外からも参加いただいた多くの家族づれの歓声で溢れていました。また、6月8日(日)の天草市一斉避難訓練に併せて、振興会では講師に天草市文化課係長 松本博幸氏をお招きし、天草の津波被害「島原大変肥後迷惑」をテーマに防災講和を開催しました。会場には約100名の皆様が出席されましたが、共に過去の災害の歴史を教訓としてしっかりと受け止め、今後の自主防災活動に大いに役立てていきたいと思っております。

小宮地地区には多くの歴史と自然、そしてそこで暮らす人情味あふれる方々とのふれあいにより、多くの美点が形作られていると思っております。

高齢化や人口減少の傾向は進んでいます、この様な美点を生かして振興会活動に取り組むことで、生きがいと活力のある、共助のこころあふれる住みよい小宮地づくりをすすめて、そして次の世代へ引き継いで行きたいと願う次第です。どうぞ、今後とも皆様の変わらぬご理解とご協力をお願いいたします。

小宮地地区振興会会長

上原 伸孝



第19回仕切り網漁体験



(獲れたよ～～)

(タモ網片手にいざ入場)



(錦糸卵に挑戦中)



(アオサ尽くし)



4月27日、宮地浦湾で、仕切り網漁体験を実施しました。当日は好天に恵まれ、町内外から62名の方が参加されました。

6月26日には新和小学校4年生18名が仕切り網漁体験を経験しました。

湾に入ると、皆さん歓声を上げながら、ボラやチヌ、コウゴダイ、ヒラメ、イカなど多くの魚を網ですくい上げ意気揚々、海から上がって来られました。小さい子供には大量の魚を抱えて陸まで来るのは骨が折れるように袋を引きずりながら歩いていました。役員が網を持つのを手伝う光景も観られました。これからもこの体験を通し、伝統を引き継ぎ、地域の自然や資源を大切にすることを育むことができればと願っています。

(出陣～さる～)



男の料理教室

6月12日、今年度第一回の「男の料理教室」を開催いたしました。(年4回実施予定)今年度は新メンバーを迎えて5名で続けていくつもりです。もちろん途中入会も受け付けております。今回の献立は「五目ちらし」「アオサの天ぷら」「あおさ汁」と新和の海の幸をふんだんに使って料理しました。次回は韓国料理を予定しています。今回より参加者には新和町作りポイントとスタンプ1個を付与しています。

「虫追い祭り」が開催されました

4月27日(日)に、『虫追い祭り』が開催されました。新和中の生徒さん達が、各公民館で力強く太鼓をたたきながら踊りを披露しました。練習時期にはインフルエンザが流行し練習が進まず、開催も危ぶまれましたが当日は雲ひとつない晴天に恵まれ豊作を祈願することが出来ました。新和の伝統行事を体験することで大切な思い出がまた一つ増えたのではないかと思います。



(道中踊り)



(五色の旗がキレイですね)



(公民館で舞を披露しました)



(振興会HP)

天草市一斉避難訓練

6月8日、天草市一斉避難訓練が実施され、小宮地区振興会では訓練に合わせて各地区の『土砂災害警戒区域』の写真を展示し、防災講話を実施しました。

当日は小宮地区住民約175名が小宮地区コミュニティセンターに避難し、その後9時45分からの防災講座を受講しました。参加された方には、新和まちづくりポイント事業としてとのさりー50Pとスタンプ1個を付与しています。



(土砂災害警戒区域等の図面)



(一斉避難訓練)

今後の予定

- 7月・フォトコンテスト募集開始
 - ・ハマボウ観察週間(5日～13日)
- 9月・コスモスの種まき
 - (小宮地保育園)
 - ・韓国料理教室(11日)
 - ・新和町敬老会(14日)
- 10月・道路愛護
 - ・みんなのスポーツ大会(12日)



編集後記

早いもので昨年の5月からお世話になりあつと1うまに1年が過ぎました。1年経って少し行事の流れがわかってきたように思います。今年も周りの皆様に助けていただきながら、楽しくお仕事できることを祈っています。どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局 堀口)

過去から学ぶ防災知識

天草の津波被害「島原大変・肥後迷惑」

一斉避難訓練の終了後、天草市文化課係長 松本 博幸氏を招いて「天草の津波被害 島原大変・肥後迷惑」というテーマでお話を伺いました。普賢岳の噴火から34年が経ちました。今回の噴火は津波がなかったため天草には被害がありませんでしたが、200年前の寛政の津波では、343名の方が亡くなりました。そこで供養碑を建立して供養を行っていました。「津波の恐ろしさ後世につたえていきたい」と思ったのではないのでしょうか？我々も大切にしていかなければなりませんね。



(講師：松本 博幸氏)



(熱心に聞き入る町民の方々)